

2026 年 8 月 7 日

【SUPER FORMULA 第 8 戦 / スポーツランド SUGO】大会直前情報



スポーツランド SUGO は 3,586m と短いコース長の中に複雑に組み合わせられたコーナーが続くテクニカルなサーキット。大きな右カーブを曲がりながら駆け上ってくる最終コーナーは、わずかに数センチずればコースアウトにつながるチャレンジングなポイントの一つです。コースの短さに加え、速度域も高いため、ラップタイムはドライコンディションの決勝で 1 分 8～10 秒。目まぐるしい速さでレースが展開していきます。

今大会は土曜日に公式予選、日曜日に決勝レースという 1 大会 1 レース制のフォーマット。4 月に行われた第 3 戦同様、Q2 の上位 5 名によってポールポジションを争う『SUPER POLE QUALIFYING Supported by YOKOHAMA TIRE』を実施します。第 3 戦では岩佐歩夢選手、野尻智紀選手の TEAM MUGEN コンビに、阪口晴南選手(SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING)、サッシャ・フェネストラズ選手(VANTELIN TEAM TOM'S)、太田格之進選手(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)の 5 名が Q3 に進出し、熾烈なトップタイム争いを展開しました。

1 周の ATTACK に全神経を集中させる予選セッションは、ドライバーにとっても非常にタフな戦い。それを 3 つ続けて行う Q3 方式は、精神的な消耗も大きいと言えます。しかし、「それよりも観客に自分の走りを見てもらえる機会が増えるのはいいこと」と、各選手は意欲的。「Q1、Q2 は 12 台と比較的出走台数が多いのですが、Q3 は 5 台しかいないので他のマシンを気にすることなく ATTACK に集中できます」という声も聞かれました。コースが短い SUGO では予選でも決勝でもトラフィックに引っかかりロスしてしまうケースが出てくるのが少なくありません。ライバルを気にすることなく思い切り ATTACK できるのは、ドライバーにとっても嬉しいことのようにです。



さらに、「予選セッションを、周りよりも 1 回多く経験できることで、得られるデータはかなり多くなります。1 回目から 2 回目に向けて施したセット変更の方向性の良し悪しを判断して、さらに突き詰めていくこともできる。Q3 に進出した 5 名はさらに予選での速さを増すことになるでしょうね」と話すドライバーも。実際、オートポリス大会では Q2 と Q3 のトップタイムの差は 0.553 秒。1000 分の 1 秒で順位が変わるスーパーフォーミュラの世界では、とてつもなく大きな差です。走行機会に限られるスーパーフォーミュラでは、わずか 7 分の予選セッションも貴重な時間。今大会のポールポジション獲得はもちろんのこと、ここから先の戦いを見据えても、Q3 進出は誰もが突破したい関門の一つです。

オートポリス大会に続く 2 度目の『SUPER POLE QUALIFYING Supported by YOKOHAMA TIRE』は誰が制するのか。トップドライバーたちのプライドがぶつかり合うわずか 1 週の戦いにぜひご注目ください。